

つながりを大切にし、
かかわりを深める児童生徒の育成



ユネスコスクール便り

№123

令和5年2月28日
大牟田市エネコスクール
担当者通信

1月17日は 「大牟田市ユネスコスクールの日」

大牟田市はご存じの通り、市内の全小中特別支援学校がユネスコスクールとして登録されており、市をあげてESDを推進しています。この、市内の全公立学校がユネスコスクールとして加盟するという実績は加盟当時の平成24年から現在におけるまで世界でも例が無く、「ESDといえば大牟田市」と全国的に認知されるきっかけとなりました。大牟田市ではこのことを記念して、加盟日である1月17日を「大牟田市ユネスコスクールの日」と定め、「ユネスコスクールのまち大牟田」の学びを全国に発信しています。



「ユネスコスクールの日」にちなんで様々な取組が実施されました。

「ユネスコスクール週間」の取組

1月17日の「大牟田市 ユネスコスクールの日」を含む1月14日から1月21日までの一週間は、「ユネスコスクール週間」として各学校で様々な取組が行われました。対面やりモートでユネスコスクール記念集會を開いたり、各学年の足跡を展示したりして、子ども達が自らの学びの価値についてじっくり考える機会が設けられています。



ZOOM を使って記念集會を実施



自分達の学びをお互いに発表



学年の学びが見える展示室の設置

特色ある実践事例の紹介

「桜プロジェクト」で吉野のまちづくり 吉野小学校

吉野小学校では、5年生「吉野小桜プロジェクト」において、地域の方と一緒に桜でつなぐ吉野のまちづくりの活動に取り組んでいます。地域の吉野さくら絆プロジェクトの方々に管理方法についてアドバイスをいただいたり、地域に植樹した桜の成長の様子を観察しに行ったりしています。

1月には桜の寒肥、2月には通玄寺に植樹を行い、ふるさとである吉野の町を、美しい桜が咲き誇る、活気ある町にしようと頑張っています。



地域の方と桜の成長を観察する児童

「銀水花いっぱい 絆プロジェクト」 銀水小学校

「銀水花いっぱい絆プロジェクト」に取り組んでいる4年生は、よりよい地域を目指して活動されている方々にインタビューしたり、一緒にノースポールの苗を育てたりしました。また、地域の偉人や遺跡について調べ、銀水校区への愛着を深めました。3学期は、育てた花苗をお世話になった地域の方々に贈って感謝の気持ちを伝え、花いっぱいの銀水校区を目指しています。

このプロジェクトを通して、地域について知り、地域のために自分に何ができるか考え、実践することの大切さを学んでいます。



地域の方と花の苗を育てる児童